

取扱説明書

モバイル もぐら



MM-ER3022J

ホームページには、製品に関する詳しい情報が掲載されています。

「Jコーポレーション」で検索

緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 Jコーポレーション
総合窓口 TEL 0742-53-7833



業務管理センター 奈良県奈良市押熊町 557-7 4F fax 0742-53-7795

本社 三重県津市住吉町 11-13 TEL 059-223-7774

はじめに

この度は一般向け緊急放送受信装置 MM-ER3022J をご購入していただき誠にありがとうございました。

本製品は、NHK が製作した緊急地震速報の報知音（以下、チャイム音と称します）による、緊急地震速報と緊急警報信号 EWS（Emergency Warning Signal）による、緊急警報放送を受信することができる単一周波数固定^(注 1)の FM ラジオ受信機です。

注 1：単一周波数固定とは、設定した放送のみ受信するよう周波数が固定されています。その為、出荷時に設定した周波数以外の放送を受信する事はできません。

取扱説明書をよくお読みいただき、本製品を安全に正しくご使用ください。

※この取扱説明書でいう緊急放送とは、緊急地震速報の報知音(チャイム音)、および緊急警報信号(EWS 信号)を前置きして放送される全ての放送を意味しております。

放送の内容につきましては、放送局へお問合せください。

※緊急地震速報に使用される NHK 報知音(チャイム音)は、NHK に帰属しております。

1. 主な特徴

- 緊急放送の放送時、チャイム音、または EWS 信号により自動起動します。
- 緊急放送を受信した場合、自動的に大音量に切替わります。
- 緊急警報信号(EWS 信号)を受信したときは、受信 LED を点滅させてお知らせします。
- 受信 LED により緊急放送が受信可能であることをお知らせします。
- 電池交換時期を電池 LED の点滅によりお知らせします。

2. 安全上の注意（必ずお守りください）

本製品をお使いになる方や他の方々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載していますので、よくお読みになり必ずお守りください。

 警告	この表示の欄は、誤った取扱により、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄は、誤った取扱により、人が傷害を負う可能性、または、物理損害の発生が想定される内容を示しています。

警告

-  **禁止** 乾電池は指定電池を使用し、誤った使い方をしない。
 ・アルカリ乾電池を使用し、充電式電池を使用しないでください。
 ・電池の（+）と（-）を逆に入れしないでください。
 ・新・旧電池や種類の電池をいっしょに使用しないでください。

 電池の液漏れや破損、発熱、発火の原因になります。
-  **禁止** 濡れた手でアダプタプラグ、および、電源プラグの抜き挿しをしない。

 感電の原因になります。
-  **指示** アダプタプラグ、および、電源プラグは根元まで確実に差し込む。

 差し込みが不完全ですと、感電や火災の原因になります。
-  **禁止** 使用中に異臭・過熱・変形などの異常を発見した場合は、すぐに使用をやめ、電源プラグ、乾電池を抜き購入先へ連絡してください。

 火災の原因になります。
-  **禁止** 分解や改造をしない。

 感電や火災の原因になります。

-  **禁止** アダプタプラグ、および、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

 コードを持って抜くと断線により、発熱、発火、火災や感電の原因になります。
-  **禁止** 添付された AC アダプタ、または、指定電池以外では使用しない。
 故障や発熱・火災の原因になります。
-  **禁止** 直射日光が当たる場所や炎天下の車内など、異常に温度が高くなる場所での使用や放置をしない。

 故障や発熱・発火の原因となります。
-  **禁止** 防水製品ではありませんので、窓ぎわ、風呂、シャワー室など、雨や水滴のかかる場所では使用しない。

 故障や発熱・火災、感電の原因になります。
-  **禁止** 雷が鳴ったら、本体、アンテナ、AC アダプタに触らない。

 感電の原因になります。
-  **禁止** 乾電池端子部に金属を挿したり、内部に金属を入れない。

 ショートにより、発熱、火災や感電の原因になります。

注意

-  **禁止** 被覆の破れたコード（AC アダプタ）のまま使用しない。

 感電や火災の原因になります。
-  **禁止** 設置する時に AC アダプタのコードを無理に曲げたり、ドアに挟んだままでの使用をしない。

 感電や火災の原因になります。
-  **禁止** アンテナを伸ばしたまま移動しない。

 ケガの原因になります。

-  **禁止** 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気のあたる場所へ置かない。

 感電や火災の原因となります。
-  **禁止** ぐらぐらした不安定な場所で使用しない。

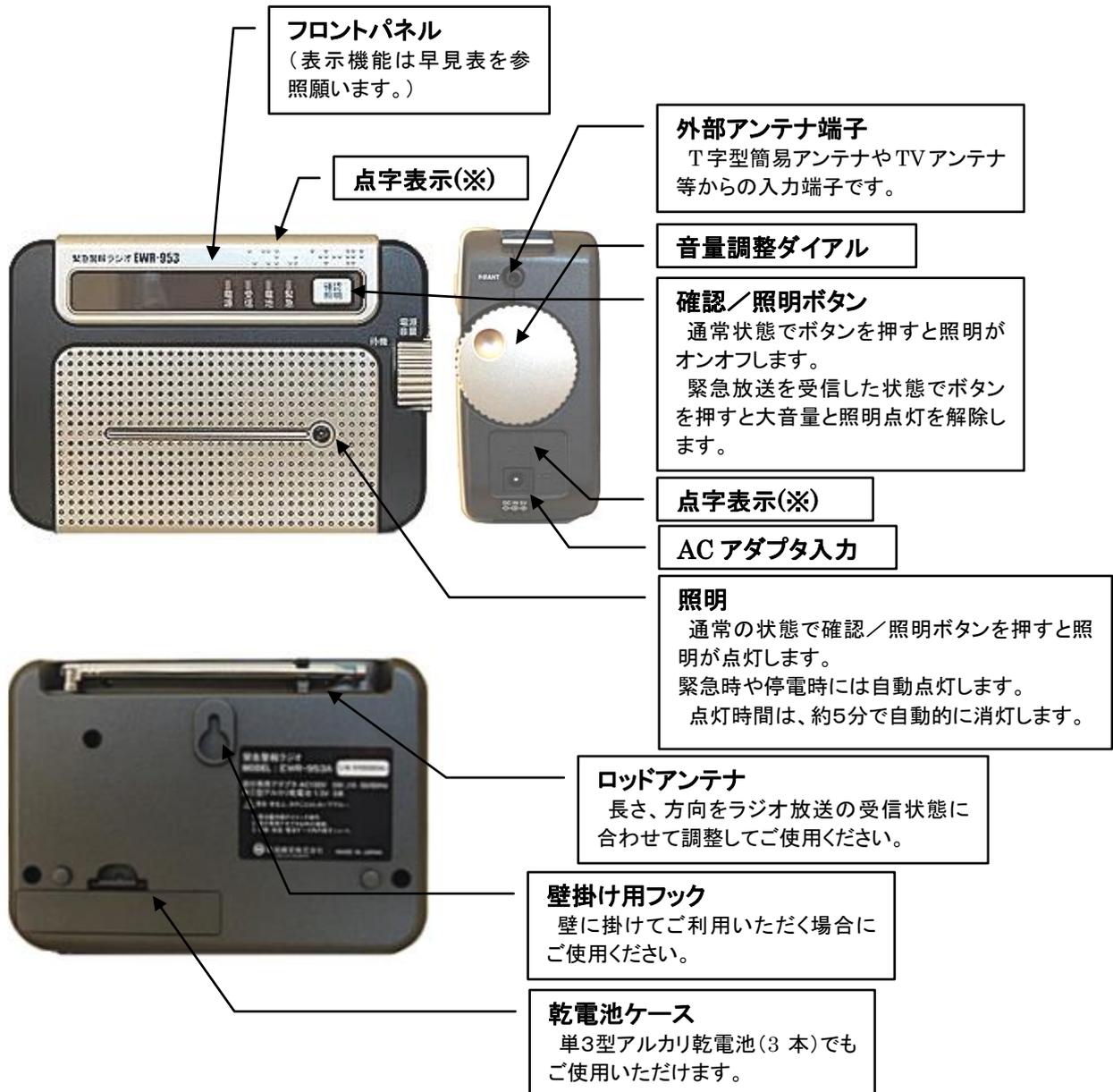
 本体落下によるケガや故障の原因になります。
-  **禁止** テレビやパソコンの近くに置かない。

 本製品のスピーカーは、防磁設計ではありませんので、テレビやパソコンの故障の原因となります。

本製品は、ラジオ放送を聴いていない待機状態からでもチャイム音、および EWS 信号により自動的に起動し、緊急放送を受信するものであり、本製品自体でお客様の被害の予防や損害を回避するものではありません。

従いまして、本製品の不具合や誤った使い方により、緊急放送が受信できなくなり、災害により発生した損害を保証するものではありませんのでご了承ください。

3. 各部の名称と機能



※主要部に点字表示を付加しております。

4. フロントパネル表示

フロントパネルにある LED による状況表示について

電源（緑色）： 放送を受信している場合に点灯します。
待機状態では消灯となります。

受信（黄色）： 緊急放送が受信可能な設置状態にある場合に点灯します。
また、試験放送を受信した場合に 24 時間点滅します。

緊急（赤色）： 緊急放送を受信した場合に点滅し、照明の同時点灯とあわせて警報をお知らせします。

電池（橙色）： 乾電池の交換時期を点滅してお知らせします。この LED が点滅したら、早めに新しい電池へ交換してください。

電池を入れずに AC アダプタからの電源供給のみでご使用になられぬ場合でも点灯します。

緊急放送を停電時でも受信いただくために電池を入れてご使用ください。

フロントパネル表示 早見表

		○点灯	●消灯	◎点滅
電源	緑色	電源オン	待機状態	
受信	黄色	受信可能	受信不可	試験放送受信
緊急	赤色			緊急放送受信 (照明同時点灯)
電池	橙色			乾電池交換時期のお知らせ

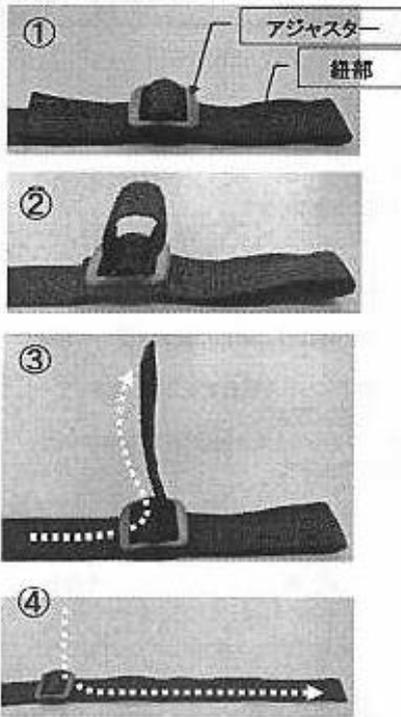
5. 受信装置の準備

1. ストラップの取り付け

※お客様の使用環境により、取り付けてください。

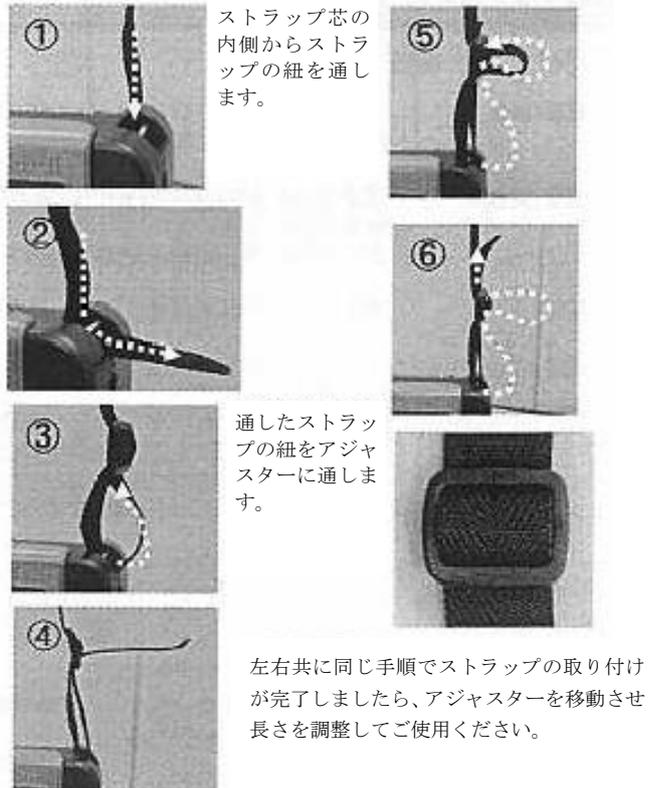
ストラップの準備

ストラップを取出し①～④の順序で両端とも紐部をアジャスターから抜き出します。

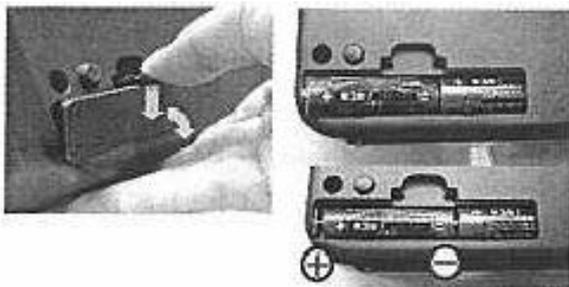


ストラップの取り付け

本体にストラップを取り付けます。



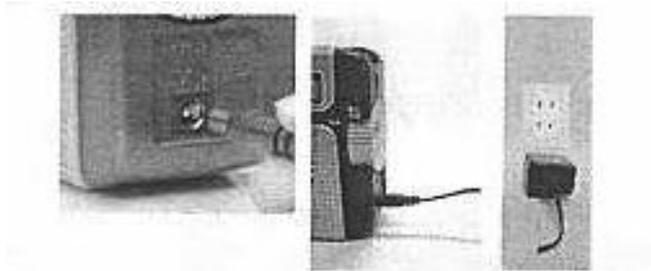
2. 電池を入れる



- ① ツマミを押し下げ、電池ケースの蓋を手前に引いて外す。
- ② 単3型アルカリ乾電池（添付）3本をプラス（+）とマイナス（-）の向きを正しくあわせて入れる。
- ③ 蓋のツメを掛け、ツマミがパチンと音がするまで押して、電池ケースの蓋を閉める。

本機は、緊急放送を常に受信するために、微電力ですが電源を必要とします。使用時は、必ずACアダプタを接続してください。電池は停電時のバックアップ用となります。

3. 電源の準備



- ① ACアダプタのプラグを本体のACアダプタ入力端子へ差し込む。
- ② 家庭用コンセントへACアダプタを差し込む。

注意

ACアダプタは本製品専用です、他の機器に接続したり、他の機器のACアダプタを接続しないでください。故障や発熱、火災の原因となります。

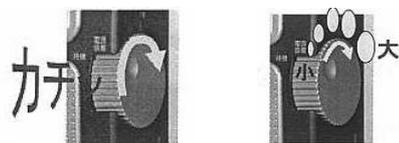
電源が供給されると自動的に故障診断が開始されます。

- ・診断中はフロントパネルの4色のLEDが順次点滅します。

注意1 4色の点滅が終了した後に受信(黄色)が、早い点滅を続ける場合は故障の可能性があるので、購入先へ連絡してください。

注意2 ACアダプタを接続せずにアルカリ乾電池で操作した場合、故障診断後、自動的に照明LEDが点灯し直ぐに消えますが、これは、停電時に照明LEDを点灯させるようにAC電源の供給状態を監視しているためであり故障ではありません。

4. 本体の電源を入れる



- ① 音量調整ダイヤルを待機位置から時計方向に回転させ電源を入れる。
 - ・「カチッ」と音がします。(電源が入る)
 - ・さらに時計方向に回すと音量調整が大きくなります。

5. 受信状態を調整する



- ① ロッドアンテナを起し伸ばします。(受信感度により伸縮してください)
- ② フロントパネルの受信LEDが黄色で点灯する様にロッドアンテナの角度と回転方向を調整する。

注意 受信LEDが点灯していない場合、緊急放送を受信することができません。

ロッドアンテナによる調整ができない場合は、添付のT字型アンテナ、または外部アンテナを使用して調整してください。

6. 待機状態にします。

- ① 音量調整ダイヤルを反時計方向に回転させ、電源を切ります。
 - ・電源を切った状態でも緊急放送は受信しますので、電源は必ずお切り下さい。

緊急放送受信時は、音量調整ダイヤルの位置に関係なく、自動的に大音量で放送します。

注意 上記の手順により待機状態にした後、設置場所を移動した場合、再度、手順「5.受信状態を調整する」を実施し受信調整を行ってください。
ラジオ放送が受信できない設置場所では、緊急放送を受信することができません。

6. 緊急放送を受信した時

1. 緊急放送を受信した場合、チャイム音、または、EWS 信号音が流れます。
2. フロントパネルの緊急 LED（赤色）が点滅し、照明 LED が点灯します。
3. 大音量で緊急放送が流れます。
4. 約 5 分で自動的に解除されます。（元の状態に戻り、照明が消灯します。）
または、放送中でも確認/照明ボタンで解除できます。

注意 元の状態とは、待機状態の時は待機状態に、
通常放送を聴かれていた時はその時の音量に戻することを意味します。

7. ラジオ放送を聴く時

1. 本体の電源を入れます。
 - 音量調整ダイヤルを待機位置から時計方向に回転させ電源を入れる。
 - ・「カチッ」と音がします。（電源が入る）
2. ラジオ放送が流れます。
3. 放送を聴き終わりましたら、本体の電源を切ります。
 - 音量調整ダイヤルを待機位置へ反時計方向に回転させ電源を切る。
 - ・「カチッ」と音がします。

電源を切った状態でも緊急放送は受信しますので、電源は必ずお切り下さい。

8. 定期点検・注意事項について

1. 定期点検
 - 本製品を安定稼働させるために、定期的に受信状態を確認してください。
 - また、緊急時に備え乾電池の予備を常備しておく事をお勧めします。
2. 注意事項
 - 設置場所を移動した場合、新しい設置場所で正しく受信できている事を確認してください。また、事故防止の為、お子様の手の届かない場所へ設置するようにしてください。

9. こんな時は

雑音が多い	<ul style="list-style-type: none">・ロッドアンテナの長さや方向を変えてみてください。・近くに他の電気製品がある場合、離してみてください。・自動車や電車の近くでは、雑音が多くなる場合があります。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">・待機、または音量が最小になっていないか確認してください。・音量調整ダイヤルを調整してみてください。
受信 LED(黄色)がフラッシュ(早い点滅)している	<ul style="list-style-type: none">・本製品が故障している可能性があります。すぐに AC アダプタと乾電池を抜いて、購入先へ連絡してください。
受信 LED(黄色)がホタル(遅い点滅)している	<ul style="list-style-type: none">・EWS 試験放送を受信できたことを表示している状態で故障ではありません。確認/照明ボタンを押すと解除となり、点灯に変わります。
突然照明 LED が点灯した	<ul style="list-style-type: none">・AC アダプタがぬけていないか、AC アダプタ入力端子、家庭用コンセントを確認してください。停電が発生した場合、自動的に点灯します。確認/照明ボタンを押すと消灯します。
電池 LED(橙色)と緊急 LED(赤色)が点滅する	<ul style="list-style-type: none">・電池を再度、入れ直してください。・交換した電池は新しいものか確認してください。
他の放送を受信(周波数変更)する事が出来ない	<ul style="list-style-type: none">・本機は、出荷時に設定した周波数のみ受信するように設定されている為、お客様での変更は出来ません。
設定されている周波数を変更したい	<ul style="list-style-type: none">・お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。※周波数の変更につきましては、本製品の保証期間内外を問わず、有償となります。

症状が改善されない場合は、購入先に連絡してください。

10. 製品仕様

品名	モバイルもぐら
型番	MM-ER3022J
スピーカー	7.7cm 8Ω 2W
電源	AC アダプタ 入力 AC100V 50/60Hz 出力 5V、1A DC 4.5V 単三型アルカリ乾電池 3本使用
消費電力	待機時 60mW、最大 1.6W (緊急放送を常に受信するために電力を消費しています。)
受信周波数	76.0MHz~90.0MHz の間で単一周波数固定(100kHz 刻み) ※受信周波数は出荷時に設定(本体での周波数変更不可)
外部アンテナ	外部アンテナ接続端子あり(ピンジャック端子)
外部出力	外部接点出力端子なし 外部音声出力端子なし
重量	約 480 g (アルカリ乾電池 3本、ストラップ使用時)
外形サイズ	170(W)×57.5(d)×125(h)mm
温度範囲	0~40℃

11. 添付品

1. AC アダプタ
2. ストラップ
3. T 字型アンテナ
4. 単三型アルカリ乾電池

12.保証について

製品保証規定（保証書）

お客様の正常な使用状態で万が一故障した場合のみ、保証規定に基づいて無償修理いたします。
尚、物理的な破損等が見受けられる場合、お客様にて改造・修理されている場合には無償修理の対象外となります。

- 保証期間内に正常なる使用状態において、万が一故障した場合には無償修理いたします。
- 修理はセンドバック方式です。※修理依頼時の送料はお客様負担にてお願いします。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損害について、弊社および販売会社は一切責任を負わないものとします。
- 本製品の使用誤りや使用中に生じた本製品に起因する故障・誤動作あるいは停電等の外部要因によって生じた事故・人身・経済損害等、すべての障害について、弊社および販売会社は、一切その責任を負いません。
- 本保証規定に基づく弊社および販売会社の責任は、製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - 取扱い上の誤り及び不当な改造や修理によれる故障及び損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下、そのほか衝撃による故障及び損傷。
 - 間違って接続した場合（電源電圧が違うアダプタをさした場合等）
 - 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障や損傷。
 - 戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由は生じた場合による故障及び損害。
 - 日本国外で発生した損害。保証書のご提示が無い場合。
 - 弊社もしくは代理店の都合以外の理由により、保証書に記載の字句を利用者もしくは第三者が改めた場合。

本保証規定は、日本国内でお買い求めいただき、日本国内でご使用いただいている場合のみにて有効なものとし
ます。
本内容については、お客様の権利を不利益に変更するものではありません。

本書は、保証規定の範囲で無料修理させていただく事をお約束するものです。
保証期間内に故障が発生した場合は、修理をご依頼の上、本書を提示下さい。
（ご提示の際は、必ず複写した物を保管してください）※保証期間中においても出張修理は行いません。
保証書はいかなる場合においても再発行いたしませんので、紛失なさないように大切に保管して下さい。
本保証書は、個人情報も記載されているので、保証書の保管はお客様の責任において行って下さいますようお願い
します。
本保証書は、本保証書に記載された内容により、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

対象機種	モバイルもぐら MM-ER3022J	製造番号
保証期間	年 月 日 より	1年間
契約者名	(ふりがな)	(ふりがな)
	会社名	担当者名
	住所 〒	
	電話番号	FAX 番号
販売店名		

緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 **J** コーポレーション
総合窓口 TEL 0742-53-7833



業務管理センター 奈良県奈良市押熊町 557-7 4F fax 0742-53-7795
本社 三重県津市住吉町 11-13 TEL 059-223-7774